

🎃 ハロウィン(Halloween)って？



ちょっと乱暴にいうと、日本のお盆にあたる「万聖節(Hallowmas, All saints' Day)」の前夜祭のこと。もともとは 2000 年以上前のケルト人の宗教的行事で、秋の収穫を祝い、亡くなった家族や友人達を尊び偲ぶものが、後にキリスト教に取り入れられたようだ。アメリカでも公式な祭日ではないけれど、今ではクリスマスに次ぐアメリカのフェスティバルとなり、イベント好きなアメリカ人の約 50%の人がお祝いをするとのこと。ちなみにクリスマスは 80%。ハロウィンは、毎年 10 月 31 日に行われるが、休日ではない。

夜になると窓辺やテラス、玄関などにおかれた Jack-o'-Lantern と呼ばれる **かぼちゃ**

に顔を彫ったちょうちん  に火を入れ、子供達は“Trick or Treat!(なんかくれ。さもなきゃ悪さするぞ)”と近所の家の玄関を叩いては、お菓子をもらい歩き、大人も子供も、おもいおもいのグロテスクな仮装や奇抜な格好をして、町を練り歩く。アパートより一軒家の方が子供達(Trick-or-treater)がたくさん来るようだ。家によってはあらかじめお菓子を小分けにして何十個(!)も用意しておくとのこと。子供達から“Trick or Treat!”といわれたら、“Happy Halloween!”と応えてお菓子を渡すのだが、個人的には、お菓子を子供にあげなかったときの悪さもちょっと見てみたいと思うのは、ひねくれた見方だろうか？ 手作りのお菓子は、毒物の混入事件があったこともあり、あまり喜ばれないので、スーパーなどで手に入る市販のお菓子が基本だ。もちろんこの時期、ハロウィンバージョンのお菓子も山ほど売り出され、消費者の購買意欲を刺激する。子供達は、お菓子を入れるためのプラスチック製カボチャなどの容器を用意する。

またハロウィンの夜に恐ろしい仮装をするのは、家のまわりを徘徊し人間にとりつこうとする悪霊達が、その姿を見て驚いて逃げるようにするためだったそうだが、お化けの格好をした子供達が近所の人を脅かしお菓子をもらうようになったのはわりと最近で、40 年ほど前のことらしい。死者の霊魂を鎮めるためのお供えをしたのが“Trick or Treat”の始まりとも。悪霊を追い払うための仮装なのか悪霊そのものに仮装しているのか、もうごっちゃになっているようだ。

さて、アメリカでも物騒な地域では、子供が犯罪に巻き込まれるのを防ぐため、親が同伴したり、安全な地域の住宅街まで車で送ったり、学校が子供に Trick-or-treater 証明書を発行して、これがないと家庭訪問ができないようにするところもあるとのこと。

